

## レサシアンシミュレータ PLUS/レサシアンシミュレータ（以下レサシアンシミュレータ）において、SimPad PLUS 上で血圧測定アームの表記が左右逆になっている表記を修正する方法

2024 年 1 月 29 日以前に製造されたレサシアンシミュレータにつきましては、実際の血圧測定アームが左腕であったとしても SimPad PLUS 上での血圧測定アームの表記が右となっています。

本手順書では、SimPad PLUS 上での血圧測定アームの表記を正しくする（右から左に変更する）手順を説明します。

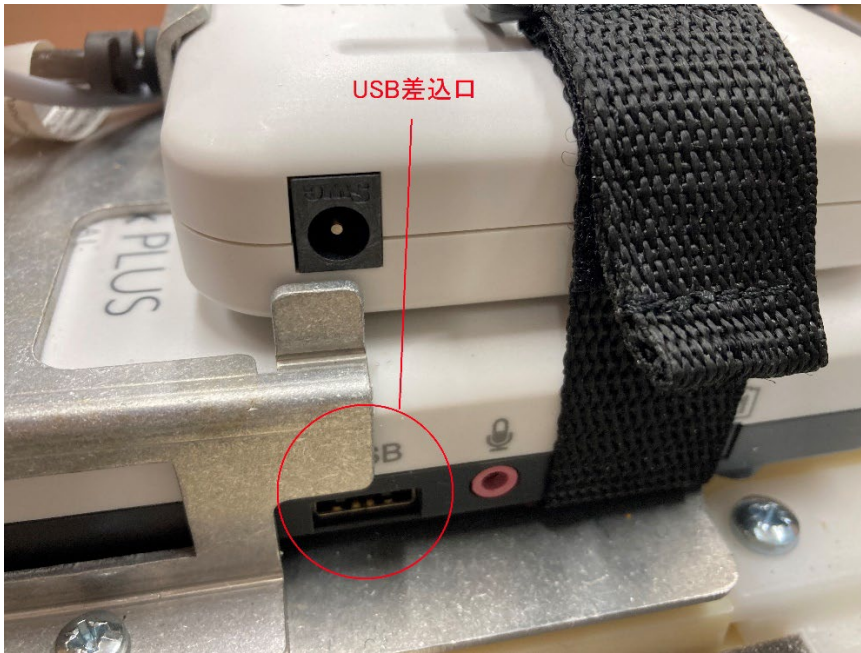
### [必要物品]

- ・空の USB メモリ 1 つ

（念のため別会社製の USB メモリも 1 つあるとよりよいです。） 工具類は不要です。

### [手順]

1. SimPad PLUS のソフトウェアバージョンが 8.1.9 以上であることを確認します。SimPad PLUS のメインメニューにて「システム設定」→「SimPad の情報」を選択し、ソフトウェアバージョンの数値を確認します。ここが 8.1.9 より古い場合は、まず SimPad PLUS ならびにレサシアンシミュレータのソフトウェアバージョンを最新のものにしてください。ソフトウェアは以下よりダウンロード可能です。  
<https://laerdal.com/jp/doc/3339/SimPad-PLUS#/Downloads>
2. SimPad PLUS の電源を切ります。
3. 空の USB メモリを用意し、set-left-arm-rasim.spu ファイルをトップの階層にコピーします。（フォルダを作成しないでください。） set-left-arm-rasim.spu ファイルは以下よりダウンロード可能です。  
<https://cdn.laerdal.com/downloads/f7238/set-left-arm-rasim.spu>
4. レサシアンシミュレータの電源を入れ、起動したら胸スキンを開け、中央にある白いリンクボックス PLUS の USB 差込口に 3. で用意した USB メモリを挿し込みます。すぐに USB メモリの LED ならびにレサシアンシミュレータの電源スイッチ部分の LED が高速で点滅を繰り返します。1 分程度経過したら LED の高速点滅が終了し、自動で再起動します。もし、ここで LED の高速点滅がない場合は USB メモリが正しく動作していないこととなりますので、別の会社製の USB メモリを用意して、3. からの手順を繰り返してください。



5. USB メモリをリンクボックス PLUS から外します。
6. 胸部スキンを閉じます。ケーブル類が胸骨圧迫部品などに当たらないように注意してください。
7. SimPad PLUS を起動します。レサシアンシミュレータとの接続（無線・有線どちらも可）ができれば、動作させて血圧測定アームが左腕になっていることを確認します。（SimPad PLUS には USB メモリを用いたソフトウェアのインストールは起こりません。）

#### [注意事項]

set-left-arm-rasim.spu ファイルはリンクボックス PLUS と SimPad PLUS にのみ有効です。旧型のリンクボックスならびに SimPad には御使用いただけません。リンクボックス PLUS と SimPad PLUS への交換（有償）後に対応可能となります。

#### [お問い合わせ]

レールダルメディカルジャパン株式会社

ご不明な点は弊社ヘルプデスクまでお問い合わせください。

TEL: 050-3733-2698（2 番） e-mail: helpdesk.jp@laerdal.com

受付時間 9：00～16：30（土・日・祝日、年末年始、弊社指定休業日を除く）